

### 第54回例会

人数：40名まで

**2016.3.12(土) 19:00~21:00** (終了後、懇親会有り)

対象／医療関係者 参加料／2,000円 (研修医・学生無料)

※当日受付にてお支払いください。(受付にて領収書を発行致します)

IOMは大森・東京歯科口腔外科、理事長新保悟を中心として、口腔医療に携わる全ての人達で作るスタディグループです。オープンな勉強会ですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。どうぞ、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。※テーマは毎月変わります。

### 第54回 演者

鶴見大学歯学部附属病院  
医薬品安全管理責任者

## 齋藤 義夫先生

1985年3月日本大学理工学部薬学科 卒業

4月鶴見大学歯学部附属病院  
薬局 入局

2007年4月鶴見大学歯学部附属病院  
医薬品安全管理責任者

現在に至る

所属学会

日本歯科薬物療学会(理事, 認定薬剤師), 日本医療薬学会など

会場

Luz大森 4F 入新井集会室  
東京都大田区大森北1-10-14

お申し込み  
(お問合わせ)

IOM事務局／大森・東京歯科口腔外科  
担当: 安田  
TEL／FAX／E-mailで承ります。

- TEL: 03-5767-7505
- FAX: 03-5767-7508
- E-mail: soushinkai.yasuda@gmail.com
- HP: http://iom-dental.net/

Facebook

当スタディグループのページ有り。【IOM】でご検索下さい。  
Facebook上でも同イベントの申込を受けつけております。



### 講演内容

#### 「医薬品による医療過誤の防止」

～歯科における医薬品の選択～  
(抄録は裏面記載)

今回は日本歯科薬物療学会理事であり、**30年の薬剤師キャリア**をお持ちの同先生に、**歯科において使用頻度の高い薬剤を選択する際の重要事項等を整理した比較一覧表**をご披露頂き、それを**元に医療過誤の防止について**、ご講演頂きます。



第54回に参加 / 不参加

次回以降の案内 希望 / 希望しない

懇親会に参加 / 不参加  
(会場階下の中華にて 会費制)

貴院/貴技工所/貴社名

ご参加者名

E-mail

ご住所 〒

TEL

( )

FAX

( )

# 医薬品による医療過誤の防止

## ～歯科における医薬品の選択～

鶴見大学歯学部附属病院薬局  
齋藤 義夫

医薬品は、人体に対する作用が完全に解明されている訳ではなく、現在わかっている有効性と安全性のバランスの上に成り立っているものである。それ故、その使用に当たって万全の注意を払っても、副作用の発生を防止できない場合もある。

わが国では、1980年5月より医薬品副作用被害救済制度が始まり、医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により、疾病、障害、死亡などの健康被害を受けた方に対して、医薬品製造販売業者の社会的責任に基づく拠出金および国（厚生労働省）からの補助金を財源とした救済給付が行われている。しかし、健康被害の原因が医療過誤や適応外使用などの場合は、適正使用の範囲を逸脱しているため、この制度の対象にはならない。

医療過誤は、「医療事故の一類型であって、医療従事者が、医療の遂行において、医療的準則に違反して患者に被害を発生させた行為」と定義されている。医療事故の中でも医療従事者の過失が明らかな医療過誤について防止対策を図ることは、医療安全を確保し、医療および医療機関に対する信頼を失わないためにも重要なことである。

歯科医療において医薬品による**医療過誤を防ぐためには、安全確認を十分に**行うこと、さらに**医薬品を適正に選択することが第一である**と考える。忙しい歯科診療中に安全確認を行う場合、また、意図していた医薬品が使用できない時に代替え医薬品を選択する場合など、医薬品を効率良く適正に選択するためには、比較資料が役に立つのではないかと考えた。そこで、**歯科において使用頻度の高い局所麻酔薬、抗菌薬、鎮痛薬について、医薬品を選択する際に重要となる事項を抜粋し、分かりやすく分類・整理した比較一覧表を作成し**利用している。

一人ひとりの患者に合った医薬品を速やかに選択できるよう備えておくことは、忙しい歯科診療中においても心にゆとりをもたらし、**医療過誤の防止にも役立つ**と考える。